

食用きのこ



チャナメツムタケ

秋、針葉樹のスギ、あるいは広葉樹林内の地上に群生か散生する。

特徴

- 傘：径4～10cm、初め半球形、丸山形から扁平に開き、表面はレンガ色～淡暗褐色で周辺は黄白色。綿質のササクレを生じ、粘性がある。
- ひだ：白色のち黄土褐色となる。柄に直生～湾生し、密。
- 柄：繊維質で白色、下部は褐色を帯び、ササクレがある。

毒きのこ



カキシメジ

広葉樹、針葉樹林内の地上に単生～群生する。地味な色をしており誤食による中毒が多い。誤食すると腹痛、おう吐、下痢などを起こす。

特徴

- 傘：径3～8cm、表面は赤褐色～栗色、湿っているとき粘性がある。
- ひだ：白色、古くなると赤褐色のしみを生じ、深く湾入し、密。
- 柄：上部は白色、下部は淡赤褐色。

※平成11年に札幌市内でカキシメジの誤食により4名がおう吐、下痢などの中毒症状を呈した。